



ウォールコネクタ (80A 単相) 設置マニュアル 重要文書

承認済のマーケット：北米、日本、台湾



このマニュアルについて.....	2	トラブルシューティング.....	20
コミュニケーション規定.....	2	リセット.....	22
誤りまたは不正確な記述.....	2	お問い合わせ.....	23
著作権および商標.....	2		
安全ガイド.....	3	付録 A: 正常な動作の確認.....	24
重要な安全指示.....	3		
警告.....	3	付録 B: ロードシェアリングの	
注意事項.....	3	接続オプション.....	25
注記.....	4	複数のウォールコネクタをデジチエー	
		ン接続する.....	25
Specifications.....	5	通信ケーブルの配線例.....	26
		その他のロードシェアリング動作.....	26
機能.....	6		
遮断器規格.....	6		
自己監視と復旧.....	6		
停電.....	6		
ロードシェアリング.....	6		
設置作業の計画.....	7		
必要最低条件.....	7		
配線.....	7		
アース接続.....	7		
200V 単相.....	7		
サーキットブレーカーの選定.....	7		
ウォールコネクタの最適な設置場所.....	7		
設置作業における考慮事項.....	8		
内容物の確認.....	10		
設置手順.....	12		
必要な工具と材料.....	12		
設置手順の概要.....	12		
リアエントリー/ボトムエントリー方式のた			
めのローブプロファイルブラケットの取付け.....	13		
リアまたはトップエントリー配線用のトップ			
エントリーブラケットの取付け.....	14		
本体取付け前の準備.....	15		
配線の接続.....	16		
動作電流の設定.....	18		
カバーの取付けと電源投入.....	19		



コミュニケーション規定

本装置は、FCC 規定のパート 15 ならびにカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に準拠しています。以下の 2 つの必要操作条件が適用されます。(1) 本装置は、有害な干渉を引き起こさないこと (2) 本装置が妨害を引き起こすものも含め、全ての干渉を受信すること。

⚠ 重要: テスラの承認によらない本装置へのいかなる変更および改造は FCC 準拠を無効にします。

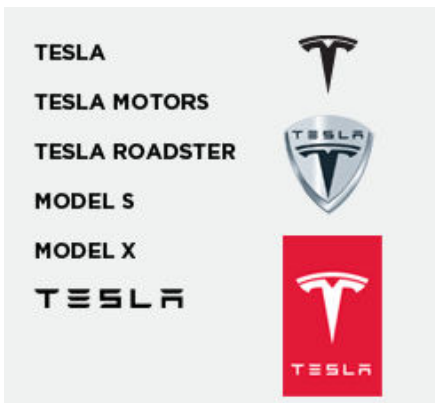
誤りまたは不正確な記述

不正確な記述や記載漏れを指摘したり、このマニュアルの質に関するご意見やご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

ownersmanualfeedback@tesla.com

著作権および商標

本ガイドに記載されているすべての情報は、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の著作権およびその他の知的財産権の対象となります。本ガイドは、Tesla, Inc. およびそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、いかなる部分も改変、複製、複写することを禁じます。詳細情報は要求により入手可能です。以下は、Tesla, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。



本ガイドに含まれる他のすべての商標はそれぞれの所有者の財産であり、係る商標の本ガイドにおける使用は、これら製品またはサービスを推奨または是認するものではありません。本書または車両に表示されている商標を不正に使用することを固く禁じます。



重要な安全指示

この文書には、ウォールコネクターの設置とメンテナンスにあたり遵守していただきたい指示と警告が記されています。

警告

- ⚠ 警告:** この製品を使用する前に全ての説明をお読みください。
- ⚠ 警告:** この機器をお子様が使用する時は必ず監督者が必要です。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターは必ず常設の配線系統または機器接地導体を使用して設置しなければなりません。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターは、引火性、爆発性、苛酷性、または可燃性のある物質、化学物質、あるいは蒸気の近くには設置しないでください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターの取り付け、または清掃をする前には、サーキットブレーカーで入力電源を必ず切ってください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターは、指定された操作パラメーターの範囲で使用してください。
- ⚠ 警告:** 壁付けされているウォールコネクター本体を高圧洗浄したり、液体をかけたりすることは絶対に行わないでください。充電ハンドルに液体をかけたり、液体に浸したりすることは絶対に行わないでください。不必要にホコリや水分に露出されることを防ぐために、充電ハンドルをドックに収納してください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターに欠陥やひび割れ、擦り切れ、故障または損傷が認められた場合は使用をすぐに中止してください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターを開けようとしたり、分解、修理あるいは改造をしないでください。ウォールコネクターは、一般ユーザーの方が点検・修理できるものではありません。修理が必要な場合は、Tesla までご連絡ください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターを移動する場合は、取扱いに注意してください。ウォールコネクターに無理な力や衝撃を与えたり、引っ張ったり、捻ったり、絡ませたり、引きずったり、踏みつけたりしないようにして、本体とコンポーネントに損傷を与えないようにしてください。
- ⚠ 警告:** ワイヤー、工具、針など鋭利な金属または指などでウォールコネクターの端子に触れないようにしてください。

- ⚠ 警告:** ウォールコネクターの各部に無理な力を与えたり、折り曲げたり、先の尖った物で破損したりしないでください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターに異物を入れないでください。
- ⚠ 警告:** ウォールコネクターの使用が、植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器などの医療機器または植込み型医療機器の動作に影響を与えたり、動作の妨げになる場合があります。ウォールコネクターの使用前に、当該の各医療電気機器メーカーに問い合わせ、充電による電気機器への影響について確認してください。

注意事項

- ⚠ 注意:** 充電用の電源として自家発電機を使用しないでください。
- ⚠ 注意:** 誤った取り付け方でウォールコネクターを使用すると、車両のバッテリーまたはウォールコネクター本体を損傷する恐れがあります。その結果として発生した損傷は、新車限定保証と充電機器限定保証の対象外となります。
- ⚠ 注意:** ウォールコネクターは -30 ~ 50° C の動作範囲外の温度では使用しないでください。



注記

注：ウォールコネクターの充電ケーブルは、踏まれたり、足に引っかけたり、車で乗りあげたり、または損傷や無理な力をかけることがないようにしてください。

注：ウォールコネクターのいかなるコンポーネントも溶剤を使って洗浄しないでください。ウォールコネクターの外面、充電ケーブル、充電ケーブルのコネクタ端子など、乾いた布を使用して定期的に拭いてホコリや汚れを落としてください。

注：取り付け作業中に誤って回路基板を損傷しないよう注意してください。



ウォールコネクターの最大定格は、200V AC 単相で16kW または80 アンペアです。車両は、200V 単相で充電可能です。

詳細	仕様
電圧および配線	単相 200V AC : L1、L2、アース
電流	設置する電気工事が設定を行う 最大出力：80A、72A、64A、56A、48A、40A、36A、32A、28A、24A、20A、16A、12A
周波数	50/60 Hz
ケーブル長	2.6 m と 7.4 m
ウォールコネクタ寸法	高さ：380 mm 幅：160 mm 奥行：140 mm
トップエントリーブラケット寸法	高さ：275 mm 幅：130 mm 奥行：50 mm
重量（ブラケット含む）	9 kg
動作温度	-30°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 85°C
エンクロージャの保護等級	Type 3R
機関承認	アメリカ合衆国およびカナダに関して、ファイル番号 E354307、FCC パート 15 として、cULus に記載。
換気	必要ありません



遮断器規格

最速の充電を行うには、定格 100A の単相サーキットブレーカーを使用してください。

設置場所によっては、この電力レベルが利用できないことがあります。そのため、ウォールコネクターのサーキットブレーカー定格を 15A から 100A に変更できます (動作電流の設定 18 ページの を参照)。

注: 実際の電流の流れは車両に付属される車載充電器に左右されます。特定の車両の車載充電器について質問がある場合は Tesla までご連絡ください。

自己監視と復旧

ウォールコネクターには接地監視回路が備わっており、安全な接地接続の有無を常時チェックし、障害から自動で復旧します。手動でのテストやリセットは必要ありません。

地絡や電力サージなどの一時的な障害からは、自動で復旧します。残留電流障害が発生して充電が中断した場合、ウォールコネクターは自動で障害の解決および充電の再開を試みます。

ただちに 2 度目の障害を感知した場合、ウォールコネクターは充電を再試行する前に 15 分間待機します。このプロセスを 4 回繰り返し、すべてが失敗に終わった場合は電力を切断し、それ以上の充電を試行しません。この場合は、フロントパネルに赤色のエラーランプが点灯します (トラブルシューティング 20 ページの を参照)。赤色のエラーランプが点灯した場合は、ウォールコネクターのサーキットブレーカーで電源を一度切り、再投入することをお勧めします。

赤色のエラーランプが点灯した時には、RESET ボタンでウォールコネクターをリセットすることもできます (リセット 22 ページの を参照)。

停電

停電が発生した場合、ウォールコネクターは電力の復帰時ともなって自動的に充電を再開します。電力の復帰時に充電ケーブルが車両に接続されている場合は、ランプが点滅しウォールコネクターは約 15 秒から 3 分間、充電ケーブルに通電しません。これにより、異なるタイミングで複数の車両が充電を再開し、一度に大きなサージ電流が送電網に流れることを防ぎます。

ロードシェアリング

最大 4 台のウォールコネクターを 1 台の自動負荷管理機能付きサーキットブレーカーに接続することができるので、自宅で複数の車両を一度に充電することができます (付録 B: ロードシェアリングの接続オプション 25 ページの を参照)。

必要最低条件

ウォールコネクターの設置に必要な作業:

- 既存の電気的負荷を計算して最大動作電流を決定します。
- 距離を計算して電圧降下を最小限に保ちます。
- 管轄の地方自治体の許可が必要な場合は、資格を持つ電気工事が設置後検査の予定を入れますのでご確認ください。
- 銅製の導体のみを使用してください。
- 使用する導体サイズは、地域の配線規則に従ってください。選択するケーブルは電気工事が選定した最大アンペアの一定負荷に対応している必要があります。
- 保護装置を使用してください。回路保護装置には、選択した電気負荷に適した漏電遮断器 (ELCB) および過電流保護が必要です。

注: 設置作業が現地の規制に適合したものとできるよう電気技師に相談してください。

配線

▲ 警告: ウォールコネクターは単相機器です。3相すべてを3相入力フィードに接続しないでください。

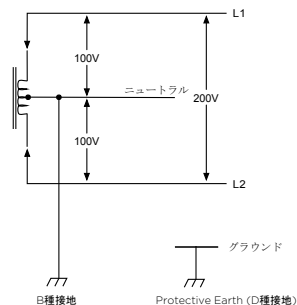
▲ 警告: ウォールコネクターを取り付ける前に、設置現場で利用できる電源の種類を確認します。

注: 使用する2相は、それぞれ100V必要です

注: 図に示しているL1、L2と接地出力は、ウォールコネクターの入力に対応しています。

アース接続

アース接続は既存の配電盤経由で行う事を基本としてください。ただし、配電盤内の接地において規定値内である事が確認出来ない場合はウォールコネクターの単独接地としてください。



サーキットブレーカーの選定

ウォールコネクターを接続するサーキットブレーカーの定格容量を決定するには、設置場所で使用可能なアンペア数を調べてください。

ウォールコネクターには内部ロータリースイッチが搭載されているので、動作電流を調整することができます（動作電流の設定18ページのを参照）。設定可能な動作電流は以下の通りです。12、16、20、24、28、32、36、40、48、56、64、72、または80A。

注: ウォールコネクターを取り付ける際には、内線規程3605-3-3で指定されているサーキットブレーカーの定格電流を参照してください。

ウォールコネクターの最適な設置場所

充電ケーブルが充電ポートに届くように、車両の駐車位置からウォールコネクターの設置位置を決定します。ウォールコネクターの設置場所:

- 屋内ガレージで、車両の充電ポートがある側。
- 風通しの良い場所。囲まれた箱の中や熱の出る機器の近くに取り付けることは避けてください。
- 床から1.2mの高さにします。
- ケーブルを丸められるよう障害物から190mm離してください。

注: ウォールコネクターは屋外で使用することができますが、完全に水没するような想定はしていません。防雨対策することが推奨されますが、必須ではありません。



設置作業における考慮事項

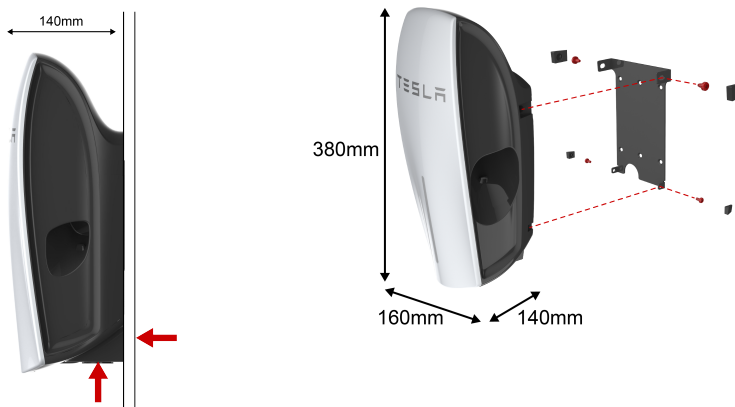
ウォールコネクタに配線を取り込む方法には3つの方式があります。コンジットの経路によりどの方法が最適か決まります。コンジットを床または壁に這わす場合は、ボトムエントリー方式を使用します。コンジットを壁内に這わす場合は、リアエントリー方式を使用します。コンジットを天井裏から下ろす場合は、トップエントリー方式を使用します。

注: 本マニュアルにある「コンジット」とは配線管を示す名称として使用されています。コンジットを使用しない地域（例えば欧州など）では、地域の規定で可能であれば、被覆された配線で構成されるケーブルをコンジットの代用として使用することができます。

付随するガイドライン：

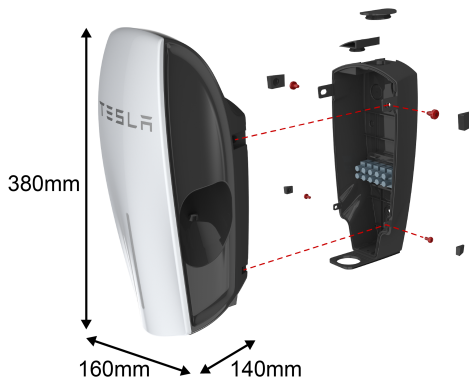
- コンジットの開口部のサイズは、25 mm コンジットです。
- 適切なサーキットブレーカーを使用します。
- 防水性を保つため、ケーブルグランドを使用します。
- UL 規格のコンジットハブを使用してください。

ボトムエントリーまたはリアエントリー





トップエントリー

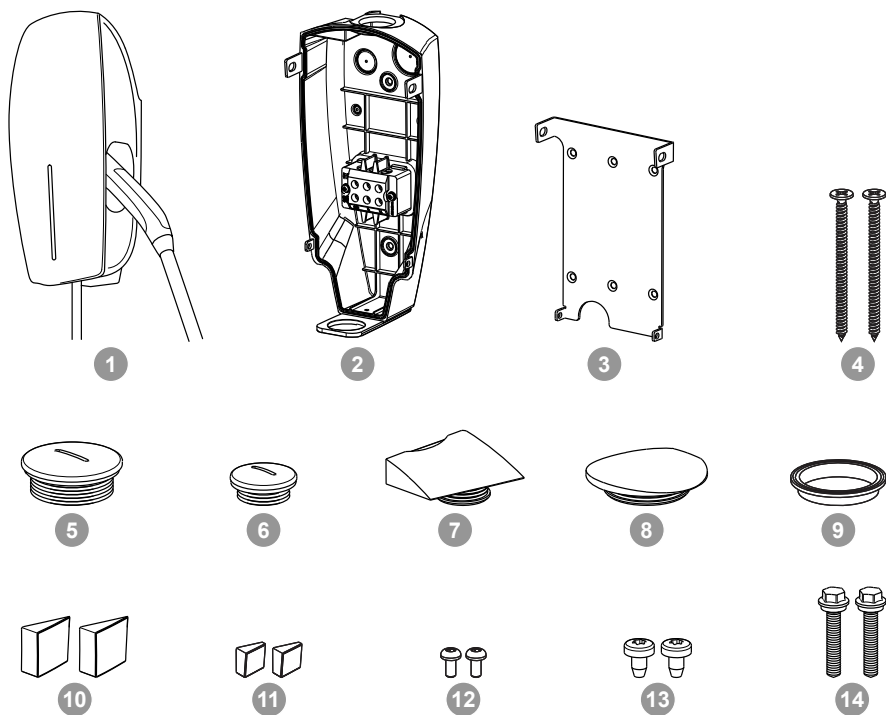




内容物の確認

商品梱包箱の中には全ての取り付け方法が行える部品と本マニュアルが含まれています。いずれかの部品に損傷があったり、見当たらない場合はTeslaにご連絡ください（お問い合わせ 23 ページを参照）。

注：提供される段ボール製テンプレートは下記に含まれていません。



番号	名称 (数量)
1	ウォールコネクター
2	トップエントリーブラケット*
3	ロープロファイルブラケット**
4	ロープロファイルブラケットネジ (2)**
5	ボトムエントリー/リアエントリー電源コンジットプラグ
6	ボトムエントリー/リアエントリー信号コンジットプラグ
7	トップエントリー信号コンジットプラグ*
8	トップエントリー電源コンジットプラグ*
9	ボトムコンジットシールガスケット*
10	上部ハウジング取付ネジ化粧カバー (2)
11	下部ハウジング取付ネジ化粧カバー (2)



番号	名称 (数量)
12	下部ハウジング取付ネジ (2)
13	上部ハウジング取付ネジ (2)
14	トップエントリーブラケット取付ネジ (2)*
* トップエントリー方式にのみ使用する部品です。 ** ボトムエントリーまたはリアエントリー方式にのみ使用する部品です。	



必要な工具と材料

ウォールコネクタを設置する前に、以下の工具と材料を用意してください。

- 鉛筆またはマーカー
- 穴パンチ（オプション。段ボール製テンプレートに穴を開けるため）
- ワイヤーストリッパー
- 電圧計またはデジタルマルチメーター（設置場所で AC 電圧を計測するため）
- プラスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- 大きいマイナスドライバー
- T20 トルクスドライバー（セキュリティネジ対応）
- T10 トルクスドライバー
- M20 および M32 ケーブルグランド（別名シーリングハブ）
- フェールル端子（フェールル径は使用する電線の太さと構成に合ったもの）
- 配線
- 水準器
- ドリル
- トルクドライバー（端子台接続用）

設置手順の概要

▲ 警告： を使用して取り付け現場に配線を敷設し、適切な上流サーキットブレーカーを設置した後、作業を続行する前に必ず電源を切り、電源が切断されていることを確認してください。

確認したら、以下の手順に従ってウォールコネクタを設置します。

- リアエントリー／ボトムエントリー方式のためのロープロファイルブラケットの取付け 13 ページの
- リアまたはトップエントリー配線用のトップエントリーブラケットの取付け 14 ページの
- 本体取付け前の準備 15 ページの
- 配線の接続 16 ページの
- 動作電流の設定 18 ページの
- カバーの取付けと電源投入 19 ページの



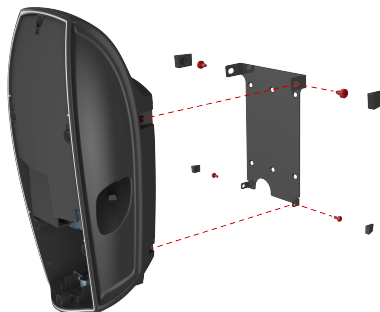
リアエントリー／ボトムエントリー方式のためのロープロファイルブラケットの取付け

以下に示すように、ウォールコネクターをリアまたはボトムから配線するには、ロープロファイルブラケットを使用してください。



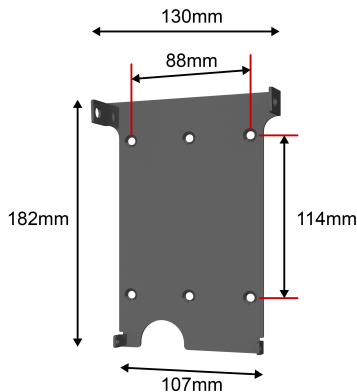
注：ブラケットを取り付ける高さを決める際にはご注意ください。考えうる限りの影響を避けるように設置を行ってください。

2. 壁の材質に適した留め具を使用してブラケットを取り付けます。に適した留め具を使用してください。中空壁や石製の柱などに取り付ける場合は、ウォールコネクターを確実に固定できる長さを備え、少なくとも 36 kg を支えられる留め具を使用してください。



1. ロープロファイルブラケットを壁にあて、取付けネジの位置に印をつけます。

- 水準器で水平を確かめます。
- 穴は 114 mm の間隔を空けます。

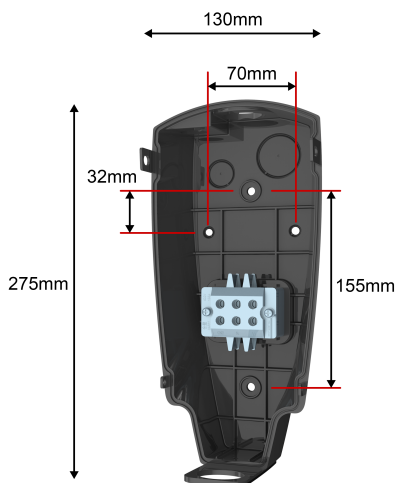


- リアエントリー方式の場合は左端または右端いずれかの 2 つの取付穴を使うとコンジットが間柱に干渉しません。
- ボトムエントリー方式の場合は、2 つの中央取付穴を使用します。



リアまたはトップエントリー配線用の トップエントリーブラケットの取付け

トップエントリーブラケットを使うと、下図のように上部からウォールコネクタ内に配線することができます。



1. 段ボール製テンプレートを壁にあて、取付けネジの位置に印をつけます。

- 水準器で水平を確かめます。
- 穴は 155 mm の間隔を空けてください。
- ウォールコネクタが床から 150 cm 以下になるようブラケットを取り付けます。床からの高さが、室内設置の場合は 45 cm 以上、屋外設置の場合は 122 cm 以上になるように取り付けてください。

注: ブラケットを取り付ける高さを決める際はご注意ください。考えうる限りの影響を避けるように設置を行ってください。

2. (オプション) 予備用に取付穴がもう 2 つあります。この取付穴を使用する場合は、穴を塞いでいるプラスチックをマイナスドライバーで押し出してください。取付穴は、70 mm の間隔が空いています。

3. 壁の材質に適した留め具を使用してブラケットを取り付けます。に適した留め具を使用してください。中空壁や石製の柱などに取り付ける場合は、ウォールコネクタを確実に固定できる長さを備え、少なくとも 36 kg を支えられる留め具を使用してください。





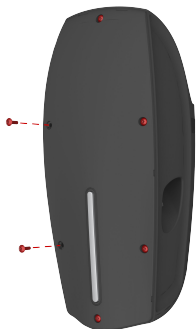
本体取付け前の準備

以下の手順に従い、カバーを外して、配線をウォールコネクタに通します。

1. T10 トルクスドライバーを使用して、前面カバー下部のネジを一つ取り外します。マイナスドライバーを使用して両端と最上部にあるスナップを注意しながら外し、カバーを完全に外します。再度取り付けるまでネジとカバーを大切に保管してください。



2. T20 セキュリティ ピン付きトルクス ドライバーを使用して、シールカバーにあるネジ 6 個を取り外します。シールカバーを注意して外し、リボンケーブルを取り外します。再度取り付けるまでネジとカバーを大切に保管してください。



⚠ 注意：シールカバーがリボンケーブルからぶら下がらないようにしてください。リボンケーブルまたは端子を損傷する恐れがあります。

3. トップエントリー方式では、配線の接続 16 ページの で示すようにトップエントリーブラケットの端子台に配線を接続してから、このページに戻り次のステップに進みます。リアエントリーまたはボトムエントリー方式は、次のステップに進んでください。
4. 4 つのマウントタブの位置をしっかりと合わせてウォールコネクタをブラケットに押さえます。
5. T20 トルクスドライバーを使用して、2 つの上部ハウジング取付ネジを取り付けます。ネジ化粧カバーを押し込んで取り付けます。
6. T20 トルクスドライバーを使用して、2 つの下部ハウジング取付ネジを取り付けます。ネジ化粧カバーを押し込んで取り付けます。

配線の接続

注: 地域の電気工事に相談するか、地域の電気規定に従い、ウォールコネクターに通電される電流に応じたサイズの導線を使用してください。

▲ 警告: このセクションに記載されている内容を読んで十分に理解するまで、配電を接続しないでください。

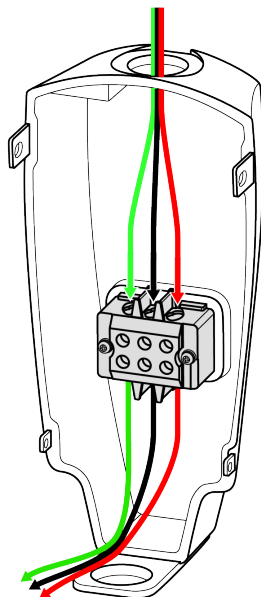
1. 電源を切断します。

▲ 警告: 感電注意! 配線を接続する前に、配電線または端子に電気が流れていないことを電圧計で確認してください。

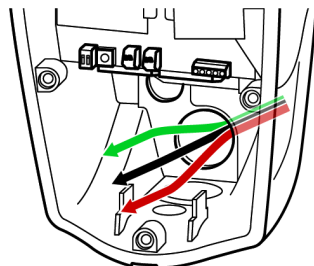
2. トップエントリー方式で設置する場合、配線をトップエントリーブラケットまたはウォールコネクターに接続します。電源コングリットの開口部を閉じるために、M 32 ケーブルグランドを使用してください。

注: 配線の色は、国ごとで異なりますのでご注意ください。配線のカラーコードに関しては、該当する国および地域の規定に従ってください。

次の図は、トップエントリーブラケットの設置用の配線例を示しています。



次の図は、ロープロファイルブラケットの設置用の配線例を示しています。

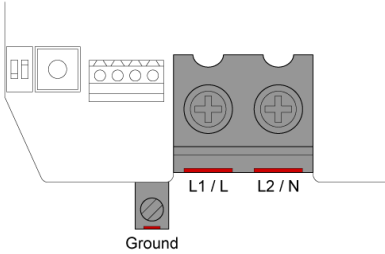


3. トップエントリー ブラケット上の端子台に接続する配線の被覆を 18 mm 剥がしてください。フェール端子の使用を推奨します。

注: トップエントリー方式で設置する場合は、トップエントリーブラケットにすでに装着されている本体接続用の配線はすでに端子台にかしめてあるので、被覆を剥がす必要はありません。

4. 本体に予め配線されているサービスワイヤをたどり、予め配線されているサービスワイヤを主端子台の、中立、アース L1 (ライン)、L2

(中立)、アースに以下の図に示すように接続してください。

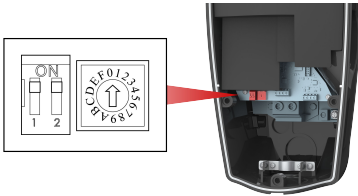


⚠ 注意: 各ワイヤストランドを切断し、それぞれを各端子台に完全に差し込んでください。

5. 各端子台を以下の推奨トルクで締め付けます。
 - トップエントリーブラケット上の端子台の締め付けトルクは、4.0 N·m です。
 - 本体にある端子台の締め付けトルクは、3.8 N·m (33 in·lb) です。
 - 本体にある端子台の締め付けトルクは、2.0 N·m です。
6. マルチメーターを使用して配線ミスがないか点検して、ブレーカーを入れる前に短絡がないことを確認してください。

動作電流の設定

動作電流の設定は、以下の手順で行ってください。下の図は、動作電流とロータリースイッチの拡大図です。



▲ 警告：ディップスイッチまたはロータリースイッチを設定または変更する前に、必ず電源をOFFにしてください。電源がONの状態では、システムはこれらのスイッチの設定変更を認識しません。また、感電の危険性もあります。

1. 電源をOFFにします。
2. ディップスイッチを設定する際には絶縁性の物を使用し、以下の通りに設定してください。
 - ・ スイッチ1の位置：
 - ・ ラインからラインへの接続(200V)は、ディップスイッチを下にします。
 - ・ スイッチ2の位置：
 - ・ ディップスイッチ2の位置は、常時「上」に設定してください。

配線/接続	ディップスイッチの位置
ラインからニュートラル (250V 超)	
ラインからライン (200V)	

3. ご使用のサーキットブレーカーに適した電流設定をするためにロータリースイッチを設定します。

小型のマイナスドライバーを使用して、適切なサーキットブレーカー定格設定にロータリースイッチを調整します。以下の表は、標準的なサーキットブレーカーに対応するロータリースイッチの設定です。



ロータリースイッチの位置	最大出力電流	サーキットブレーカー
0	テストモード	N/A
1	12A	15A
2	16A	20A
3	20A	25A
4	24A	30A
5	28A	35A
6	32A	40A
7	36A	45A
8	40A	50A
9	48A	60A
A	56A	70A
B	64A	80A
C	72A	90A
D	80A	100A
E	無効	N/A
F	スLEEPモード	N/A

- リボンケーブルをシールカバーに再度取り付けます。
 - シールカバーを取り付けます。T20 セキュリティピン付きトルクスドライバーを使用して一番上のネジのみを取り付け、シールカバーを仮止めします。
 - 電源を ON にします。
 - 正しく設置できた場合には、LED が短く連続的なパターンで緑色に点滅した後、最終的に最上部の LED が緑色に点灯します。LED が赤色に点灯または点滅する場合は、トラブルシューティング 20 ページの を参照しすぐにエラーを解決してください。
- 注：**ライトの点滅パターンを再確認する場合は、リセット ボタンを 5 秒間長押ししてください。
- 電源を OFF にします。
 - ウォールコネクター内側にある設置者ラベルに連絡先を記入してください。

カバーの取付けと電源投入

- T20 トルクスドライバー（セキュリティネジ対応）を使用して、シールカバーに残りのネジを取り付けます。カバーの位置を正しく合わせて、ネジを 8.8 in-lb (1.0 N-m) で締めてください。
- 前面カバーを上部のラッチ部分から順に取り付けます。両側のスナップを嵌め、取付けタブを本体の下部に合わせます。



- T10 トルクスドライバーを使用して、外側カバーの下部を本体にネジ止めします。ネジを 4.4 in-lb (0.5 N-m) で締めてください。
- 使用されない開口部は電源/信号コンジットプラグで塞いでください。

注：ウォールコネクター内部が見える隙間がない状態にし、外部環境から完全に密閉する必要があります。

- 電源を ON にします。正しく設置できると、LED が連続して点滅し、最後は一番上の LED が緑色に点灯します。LED が赤色に点灯または点滅する場合は、続行する前にエラーを解決してください（トラブルシューティング 20 ページのを参照）。

注：ライトの点滅パターンを再確認する場合は、リセット ボタンを 5 秒間長押ししてください。

- ウォールコネクターが正しく作動し選択した動作電流で充電できるかを確認するために車両を充電します。充電方法については、車両に装備されているオーナーズマニュアルをご参照ください。



緑色ライト	黄色ライト	赤色ライト	自動再試行	説明	対応策
一番上のライトがオン	オフ	オフ	該当なし	電源オン。ウォールコネクターの電源は入っていますが、車両を充電していません。	該当なし
ライトが流れるように点灯	オフ	オフ	該当なし	ウォールコネクターが車両を充電しています。	該当なし
ライトが流れるように点灯	1 回点滅	オフ	該当なし	車両用コネクターで高温が検出されたので充電電流が減少されました。	コネクターが車両の充電ポートに完全に挿入されていることを確認し、何かで覆われていたり熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38° C 以下）で問題が解決されない場合は、Tesla までご連絡ください。
ライトが流れるように点灯	2 回点滅	オフ	該当なし	ウォールコネクターの入力ターミナルで高温が検出されたので充電電流が減少されました。	ウォールコネクターが直接接続されている場合、何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38° C 以下）で問題が解決されない場合は、Tesla までご連絡ください。
ライトが流れるように点灯	3 回点滅	オフ	該当なし	ウォールコネクター内部で高温が検出されたので充電電流が減少されました。	ウォールコネクターが何かで覆われていたり、熱源が近くにいることを確認してください。通常の周囲温度（38° C 以下）で問題が解決されない場合は、Tesla までご連絡ください。
オフ	オフ	1 回点滅	15 分後、4 回まで	漏電。安全でない経路から漏電しています。ラインからアースまたは中性からアースで不良の恐れがあります。	ウォールコネクターを車両からいったん外してから再接続してやり直してください。問題が解決されない場合、ウォールコネクターのサーキットブレーカーをオフにして 10 秒間待ってからもう一度サーキットブレーカーをオンにした後、ウォールコネクターを車両に接続してください。不具合が解消しない場合は、Tesla にご連絡ください。



緑色ライト	黄色ライト	赤色ライト	自動再試行	説明	対応策
オフ	オフ	2 回点滅	1 分後、4 回まで	ウォールコネクターで接地接続が検出されません。	ウォールコネクターが正しく接地されていることを確認してください。不明な場合、サーキットブレーカーまたは分電盤ボックスが正しく接地され、ウォールコネクターが正しく接続されていることを確認するよう電気工事士に相談してください。
オフ	オフ	3 回点滅	いいえ	入力側配線ミス: ラインと中性が反対に接続されている可能性があります。	壁側電源とウォールコネクター間の入力配線が誤って接続されています。電気工事士にご相談ください。
オフ	オフ	4 回点滅	1 分後、4 回まで	過電圧または減電圧保護。	ウォールコネクターのサーキットブレーカーの正しい電圧について電気工事士にご相談ください。
オフ	オフ	5 回点滅	1 分後再試行 (回数に制限無し)	過電流保護。	車両の充電電流設定を下げてください。問題が解消されない場合は、Tesla までご連絡ください。
オフ	オフ	6 回点滅	1 分後再試行 (回数に制限無し)	ウォールコネクターと車両の間で通信エラーがあります。	ウォールコネクターを車両からいったん外し、再接続してからやり直してください。可能な場合、他のウォールコネクターまたはモバイルコネクターに車両を接続して、車両が他の充電設備と通信できるかどうかを判断してください。不具合が解消しない場合は、Tesla までご連絡ください。
一番上のライトがオン	オフ	1 回点滅	いいえ	過熱保護 (ラッチオフ)	ウォールコネクター、車両コネクター、コンセント (使用されている場合) が、何かで覆われていたり、他の熱源が近くにないことを確認してください。通常の周囲温度 (38°C 以下) で問題が解決されない場合は、Tesla までご連絡ください。
一番上のライトがオン	オフ	3 回点滅	いいえ	誤ったロータリースイッチ設定。	電気工事士にご相談ください。



緑色ライト	黄色ライト	赤色ライト	自動再試行	説明	対応策
一番上のライトがオン	オフ	4 回点滅	適用外	サーキットブレーカー共有ネットワーク: 1 台以上のウォールコネクターがマスターに設定されています。	1 台のウォールコネクターのみがマスターとして設定できます。リンク接続されたその他のウォールコネクターはすべてスレーブ(ポジション F)として設定しなければなりません。いずれかのウォールコネクターをスレーブに設定してください。
一番上のライトがオン	オフ	5 回点滅	適用外	サーキットブレーカー共有ネットワーク: 3 台以上のウォールコネクターがスレーブに設定されています。	1 台以上のウォールコネクターを異なるサーキットに移し、このサーキットブレーカー共有ネットワークから外してください。
一番上のライトがオン	オフ	6 回点滅	適用外	サーキットブレーカー共有ネットワーク: ネットワークに共有されているウォールコネクターの最大通電能力が異なります。	Tesla にご連絡ください。
オフ	オフ	赤色で点灯	いいえ	ウォールコネクターハードウェアの不良。以下を含む可能性のある不良: <ul style="list-style-type: none">コネクターの障害CCID 電気回路構成で自己診断に失敗その他可能性のある不良は、MCU、3V3 出力、または端子センサーがあります。	Tesla にご連絡ください。

リセット

エラーが原因で赤色エラーライトが点灯または点滅してからそのエラーを解決した場合、ウォールコネクターをリセットして正しく動作させるよう RESET ボタンを使用することができます。ウォールコネクターをリセットするには 2 つの方法があります。

- 一番上のライトが赤から緑になるまで 2 ~ 3 秒程度リセットボタンを押してください。これでエラーメッセージをクリアにすることができますが、ウォールコネクターの再起動はしません。
- まれにウォールコネクターを強制的に再起動する必要がある場合があります。RESET ボタンを 5 秒間押し続けてください。最上部のライトの色が赤色から緑色に変わったなら RESET ボタンを離します。最上部のライトは緑色で点灯します。ライトが赤色の点滅に戻ったら、問題は解決されていません。



お問い合わせ

- 日本：
 - JP_chargeteam@tesla.com
 - 0120-975-214



- 電源を OFF にします。
 - ⚠ 警告:** 感電注意! 配線を接続する前に、配電線または端子に電気が流れていないことを電圧計で確認してください。
- 絶縁性の物を使用して、ディップスイッチを適切な位置に設定してください（動作電流の設定 18 ページのを参照）。
- 小さいマイナスドライバーを使用してロータリースイッチを "0" の位置に設定し、ウォールコネクタをテストモードにします。
 - ⚠ 警告:** ディップスイッチまたはロータリースイッチを設定または変更する前に、必ず電源を OFF にしてください。電源が ON の状態では、システムはこれらのスイッチの設定変更を認識しません。また、感電の危険性もあります。
- リボンケーブルをシールカバーに再度取り付けます。
- T20 セキュリティ ピン付きトルクス ドライバーを使用して一番上のネジのみを取り付け、シールカバーを仮止めします。
- サーキットブレーカーをオンにします。
- LED ディスプレイのシーケンスの後に赤色の LED が点灯するかどうか確認します。点灯する場合は取り付け状態に問題があります。
- コンタクターまたはリレーの開閉するクリック音を確認します。
- 緑色の LED を確認します（5 秒間）。
一番上の緑色の LED がオンになり、赤色の LED が点滅します（3 回）。
注: ライトの点滅パターンを再確認する場合は、リセットボタンを 5 秒間長押ししてください。
- サーキットブレーカーをオフにします。
- シールカバーネジとシールカバーを取り外します。リボンケーブルを外します。
 - ⚠ 注意:** シールカバーがリボンケーブルからぶら下がらないようにしてください。リボンケーブルまたは端子を損傷する恐れがあります。
- ロータリースイッチの設定を適切な位置を変更します（動作電流の設定 18 ページのを参照）。
- リボンケーブルをシールカバーに再度取り付けます。
- 全てのネジを取り付け、前面カバーを再度取り付けます（カバーの取付けと電源投入 19 ページのを参照）。

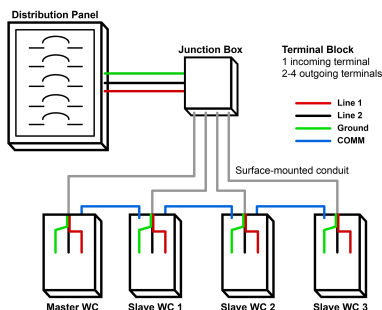
ウォールコネクタには複数のウォールコネクタ間で通信する自動負荷管理機能があり、最大 4 個のウォールコネクタに負荷を分散することができます。このローカルネットワークで使用する配線は以下を満たす必要があります。

- 主電源ケーブルのコンジット、または専用コンジットに収められている。言い換えると、高電圧配線は各ユニットからジャンクションボックスにそれぞれ分岐されている必要があります。
- 少なくとも、18 AWG 2 導体シールドより対線である必要があります。

▲ 警告: 負荷分散する場合、高電圧 (L1、L2、中立、アース) ケーブルは別の NEMA 適合エンクロージャ内で繋がなければなりません。

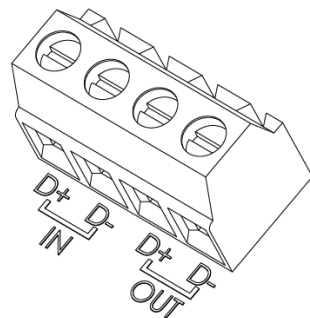
注: 屋外に設置する時は、ウォールコネクタへの水の浸入を防ぐために細心の注意を払ってください。

注: 取り付け作業が地域の規定に適合しているかについては、電気工事士にご相談ください。



複数のウォールコネクタをデジチェーン接続する

以下に示すように、各ウォールコネクタには通信配線用の端子台が 1 個設けられています。端子台の左側が入力端子で、右側が出力端子です。



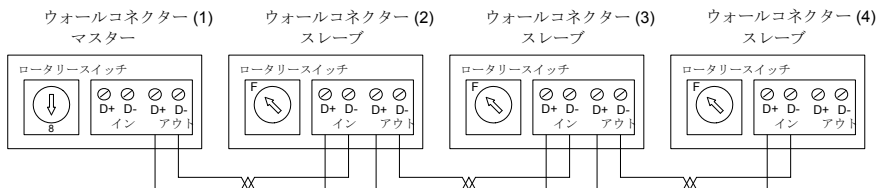
1. OUT から IN にケーブルを接続してデジチェーンネットワークを構成します。各ウォールコネクタ間を接続する際は、必ずプラスとプラス、マイナスとマイナスを接続してください (通信ケーブルの配線例 26 ページのを参照)。
 - 各ウォールコネクタ間の信号配線は信号コンジットを使用して配線する必要があります。M20UL 規格のコンジットハブを使用して信号配線用コンジットの開部を密閉します。
 - 信号配線が電源用コンジット内に電源配線と共に配線される場合、信号配線の絶縁性能評価は、電源配線と同等もしくはそれ以上になる必要があります。
 - ウォールコネクタ間の距離は、最大 15 m です。
2. 利用できる最大出力電流に応じてロータリースイッチの位置を 1 から D の間に設定して、ウォールコネクタの 1 台をマスターとして設定してください。ロータリースイッチの位置を F に設定し、最大 3 台のウォールコネクタをスレーブとして設定してください。ロードシェアリングネットワークでは、マスターに割り当てられるのは 1 台のみです (参照動作電流の設定 18 ページの)。
3. ロードシェアリングネットワークが正しくインストールされたことをウォールコネクタ前面の LED ライトで確認します。サーキットブレ

カーを初めて起動する際に緑色のライトが5秒間点灯し正常にインストールされたことを示します。最終的な表示は次のようになります。

緑色ライト	黄色ライト	赤色ライト	内容
オン (上と下)	オフ	オフ	マスターユニット

緑色ライト	黄色ライト	赤色ライト	内容
オン (下)	オフ	オフ	スレーブユニット

通信ケーブルの配線例



その他のロードシェアリング動作

- 充電が終わって離れる車やこれから充電するためにプラグを挿した車両などの台数に合わせ、電流をネットワークに接続されているすべての車両に均等に配分します。
- 安定して稼働している間、ロードシェアリングは電流を 2 A /分毎にトグルを行い車両からの需要を評価します。バッテリーが満充電に近づくくと、充電が完了するまで消費電力が徐々に低下していきます。マスターユニットは、利用可能電流が 1 台の車両ですべてを使用されることがないことを検知すると、その車両に配分される電流を減少します。
- スレーブのウォールコネクタは、マスターウォールコネクタとの通信が途絶えると充電しなくなります。
- まれに、マスターウォールコネクタのファームウェアのアップデートが行われた時に、スレーブウォールコネクタが充電を中断することがあります。これは正常な動作で、ファームウェアのアップデート (15 分) が終了すると充電が再開されます。



P/N: 1069742-00-D

MNL, USER GUIDE, NA, 1PH 80A HW, WC GEN2



(P) PN:1069742-00-D

(T) TLN:TT80AMP1NA